

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

第16回会議議事概要

開催日及び場所	第16回会議 平成24年7月4日(水) 内閣府5階特別会議室
委員	委員長 國廣 正 (弁護士) 委員 今井 猛嘉 (法政大学大学院法務研究科教授) 委員 小林 麻理 (早稲田大学大学院公共経営研究科教授) 委員 長岡 美奈 (公認会計士) 委員 渡井 理佳子 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授)
議事	○ 平成23年度 第3～4四半期の契約に係る審議 ○ その他

○平成23年度 第3～4四半期の契約に係る審議	
審議対象期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
対象案件の説明	○ 対象期間における契約の全体(内閣官房96件・内閣法制局2件・内閣府239件)について事務局から説明 ○ 審議案件の抽出の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が低い案件等について予定価格が適正に積算されているか、また事業が適正に履行されているかどうか ・企画競争の案件について、予定価格が適正に積算されているか ・落札率が100%の案件について、予定価格が適正に積算されているかを確認する。 さらに以下の観点から各案件を絞込み
審議抽出案件	4件
【競争入札】 総合評価落札方式	(官)1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか、また事業が適正に履行されているか。 契約件名：情報連携基盤等の技術要件の策定等支援業務 契約相手：みずほ情報総研株式会社 契約金額：6,615,000円 契約日：平成23年11月30日 担当部局：内閣官房社会保障改革担当室
【競争入札】 最低価格落札方式	(府)1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか、また事業が適正に履行されているか。 契約件名：東日本大震災関連紙資料PFD化業務 契約相手：プロス株式会社 契約金額：805,980円 契約日：平成24年1月24日 担当部局：内閣府政策統括官(防災担当)

<p>【競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか確認する。</p>	<p>契約件名：平成23年度中央防災無線網法定検査補助業務 契約相手：日本電気株式会社 契約金額：5,250,000円 契約日：平成24年3月1日 担当部局：内閣府政策統括官（防災担当）</p>
<p>【随意契約】 企画競争</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか確認する。</p>	<p>契約件名：平成23年度最重要・重要広報テーマに係る政府広報の実施業務「社会保障改革」（社会保障改革・税の一体改革：「明日の安心」対話集会（「明日の安心」対話集会全般、3月24日及び3月25日開催分）に関する広報実施業務） 契約相手：株式会社電通 契約金額：49,870,353円 契約日：平成24年3月14日 担当部局：内閣府政府広報室</p>
<p>委員からの意見・質問 それに対する回答等</p>	<p>別紙のとおり</p>	
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

意見・質問	回答
<p>1 情報連携基盤等の技術要件の策定等支援業務</p>	
<p>○参考見積りを出した業者も、実際の入札価格はかなり違ったものを出している。これは特殊なことなのか。あるいはよくあることなのか。</p>	<p>○企業努力でかなり入札額を下げたことと理解している。なお、低入札価格調査も実施済みである。</p>
<p>○手続的に問題がなくても、参考見積り価格に対して入札額が低い理由について調べないのか。</p>	<p>○参考見積り価格と入札額の乖離については、業者に確認する。</p>
<p>○落札した業者の技術点は、他社よりかなり高い。情報の非対称という感じがするが、技術点の評価はどうしているのか。</p>	<p>○入札業者から提出された提案書について書類上の審査を行うとともに、全ての入札業者からプレゼンテーションを受け、本当に業務を委託して大丈夫か確認した。入札額を思い切って下げて来る場合もあるので、はっきり技術点で差をつけよう、しっかり評価しようと考えた。審査は8人のメンバーで、当然それぞれが干渉せずに点数をつけている。</p>
<p>○技術点について大きな差がついた理由はどこにあるのか。</p>	<p>○入札を実施するに当たり、ワーキンググループの専門家等にシステムの中身について議論いただいた。また、党の方で大綱などもまとめていただいた。そういうものを勉強して、それに沿った提案をしてもらわないと技術点で高く評価できない。このため、業者の理解の度合いによって技術点に差が出たと思っている。</p>
<p>○先ほどのワーキンググループには、システムの会社といった関係者が入っているのか。</p>	<p>○ワーキンググループには、システムの会社の関係者も入っている。そこには学者、システムの専門家の方もおり、そこで、一旦の考え方のとりまとめをしてもらった。</p>
<p>○ワーキンググループでの議論の情報は、公開されているのか。入札してきた業者は、皆内容を熟知しているのか。</p>	<p>○ワーキンググループの議論及び資料、大綱などは公開されている。資料等には、システムの内容について記載されているので、入札業者は、内容を理解したうえで提案書を提出したと理解している。</p>

2 東日本大震災紙資料PDF化業務

<p>○落札率はかなり低いと思われるが、もともと予定価格が高かったのか。大量に必要となった資料を保管するためのPDF化は、時間はかかるが、比較的単純な仕事かとも思われ、予定価格の積算に、他の場合と違った点があるのか。</p>	<p>○整理されていない紙ファイルを会議等の使用別単位で分類し、PDF化するものであった。資料には、個人情報、著作権に影響があるものは外したり、手間のかかる業務であった。ページ数にして大体20万ページ。工期は2か月の作業であった。</p>
<p>○見積りを取るときには、大手のみならず、中小といった広がりを持たせている。いろいろな会社から取っているのか。いろいろな会社から取れば、バラエティに富んだ見積り査定が出たのではないのか。</p>	<p>○ある程度、広がりを持たせている。</p>
<p>○見積りで出した価格と入札価格が違うことのヒアリングをしてもらえれば。</p>	<p>○競争相手が出てきたら、競争性が発揮され、どこまで欲しいかという意欲の問題だと思う。あとは、それぞれの、その時の経営戦略と理解している。</p>
<p>○予定価格を作るときに、市場価格というのがどのように動いているのか、どのくらいの幅があるのか等の市場価格の調査が必要になってくると思うが。PDF化に限らず、内閣府なり、省庁横断的な案件の実績データベース化が必要と思われるので、見解として伝えておく。</p>	
<p>○入札状況を見ると、入札額がものすごくばらけているという特徴が挙げられる。一番低いところと一番高いところとでは、どこが違うのか。高い方では加わっている項目があるのか。</p>	<p>○現場を見せて説明をしたり、質問に対しては全社に回答している。入札額の高いところは書類の分類や整理について、高度なことを考えて、そこに経費を充てているのではないかと推測される。</p>

3 平成23年度中央防災無線網法定検査補助業務

<p>○参考見積りを依頼した社のうち、見積りを出してきた2社しか入札をしてこなかったが、更にほかの業者に見積りを取ることはしなかったのか。</p>	<p>○今回は取っていない。</p>
<p>○参考見積りを出したところが大体それに近い価格で入札し決まっているが、大手あるいは特殊技能を持っている業者にも見積り依頼をし、競争を活性化させた方がいいのでは。</p>	<p>○把握している登録点検業者には、最大限見積り依頼をした。</p>
<p>○参考見積りを出してきた業者の見積書を比較すると、労務費の部分の差が大きい。その原因と妥当性について調査したのか。</p>	<p>○調査は行っていない。仕様書において、作業内容も決められており、妥当な金額をそれぞれ出してきたと判断した。</p>
<p>○単価の適正性を判断する情報がない場合、評価ができない。そういう場合は、随契に回す方向で行った方がいいのではないか。</p>	<p>○1社しかないのならば、随契に移行できるが、2社の競争になっているので難しい。</p>
<p>○今後もっと複数の業者の参加を考えるのであれば、やはり省庁間の情報共有ということをもっと自由にするのがプラスに働く部分があると思われるので、見解として伝えておく。</p>	

4 平成23年度最重要・重要広報テーマに係る政府広報の実施業務「社会保障改革」（社会保障改革・税の一体改革：「明日の安心」対話集会（「明日の安心」対話集会全般、3月24日及び3月25日開催分）に関する広報実施業務）

<p>○対話集会に来た人が何を見て来たかという告知媒体の効果測定をして、今後の方向性を検討することが必要ではないのか。</p>	<p>○実際に来られた方に何を見て来たか聞いている。平均すると、4～5割ぐらいが新聞告知を見て来たという回答をされている。</p>
<p>○費用対効果という意味で、将来的にどういった方法で重点的に配分するかということが検討されるといいという気がする。</p>	<p>○どこまで情報のアクセシビリティを高めるのかということについて、政策の大きさとアクセシビリティについて問われる課題なのかと思う。</p>
<p>○告知広告と、ビラを新聞に入れてもらうのとは、どちらが安いのか。</p>	<p>○日本全体で折り込みをやった場合と比較すると、折り込みの方が高い。</p>

○その他

- ・「アフターフォロー案件」について内閣官房内閣衛星情報センターから説明
- ・文字情報のデジタル化に関する予定価格と契約額、入札金額との間のトレンド
- ・平成24年度内閣官房・内閣府本府調達改善計画 等
について事務局から説明